

## 国連世界防災会議展示「歴史遺産を未来へ-災害から地域の歴史資料を守り伝える-」を行いました（2014/3/14-18）

テーマ：日本の地域社会における歴史資料への防災・災害策についての発信  
場所：東北大学川内北キャンパス A101 教室

国連世界防災会議において、東北大学 災害科学国際研究所 人間・社会対応研究部門 歴史資料保存研究分野では、「歴史遺産を未来へ-災害から地域の歴史資料を守り伝える-」と題した展示を NPO 法人宮城歴史資料保全ネットワークとの共同で行いました。

展示では、地域社会に古文書その他の歴史資料が膨大に残されているという日本の歴史文化的な特徴について説明した上で、災害の多い日本列島においてそれらを守るための活動の概要について紹介しました。歴史資料の所在確認やデジタルカメラでの撮影、さらに東日本大震災における文化財・歴史資料の被災として最も大きな課題となっている、津波で被災した文書史料の応急処置についての取り組みについても述べました。

以上の点については日本語および英語のポスターと、パンフレットにより、国内外からの参加者へ発信しました。期間中の訪問者は約 100 名で、国内外の参加者に、日本の地域社会の歴史文化を守るための最新の活動状況を発信することが出来ました。



歴史資料保存研究分野の展示ブース

文責：佐藤大介（人間・社会対応研究部門）